南魚沼 匠宿

熟成された遺伝子が
つむぐ活躍のカタチ

抽出 まちのポテンシャル＜現況分析＞

南魚沼市の地域資源を抽出再考し、まちを育てる要素核（気候風土・地域・環境・生活・公共性・・・・）を発酵させ、「南魚沼 CCRC をプロデュース」するまちづくりへと導きます。

苔のある風景（地域性）

生涯学習（国際大学）

自然環境（四季軸）

福祉支援（健康性）

居住環境（環境住宅）

日本文化（国際交流）

南魚沼市「ひと・まち・仕事」の３つの領域を軸に分析

	【長所】地域資源を発信	【短所】今後の検討事項
まち	○恵み豊かな自然と気候風土 ○生涯学習機関のサポート ○医療機関サポートによる福祉 ○エコ・環境共生プログラム ○交通機関整備の利便性	○高齢者の受け入れに関して ○新旧居住者の交流機会 ○中心市街地の未成熟度 ○まちなか散策（交通問題） ○気候風土と生活変化対応
ひと	○健康増進形成（心・体） ○セカンドライフへの一歩（将来） ○国際交流（日本文化の伝承）	○移住民が過ごせる環境整備 ○若手の担い手（サポートカ） ○移住問題（都市格差）
仕事	○ワーク・ライフ・バランス充実 ○ICTによる新たな働き方の提唱	○遠隔地での職域（雇用問題） ○地域資源の欠如（ブランドカ）

方策 まちづくりポリシー＜CCRC の核＞

高齢化社会へ対し「生涯活躍のまち（CCRC）」をまちづくりの一歩とし、地域住民と移住民による市民交流のカタチ考えます。地域資源（有形DNA）と移住民によって導入さえる導入資源（無形DNA）が発酵しながら、新たな生活文化となる**『暮らしの匠スタイル』**を提案します。

CCRC 拠点による暮らしの舞台をデザインする『暮らしの匠スタイル』の形成

匠スタイルとは、時を重ね熟成されたシニア世代が互いに尊重しあう中に生まれる「暮らしの相互交流」であり、自立・協働・共生する生活基盤の構成目標であると考えます。

－地域に眠るDNA－ 地域資源（有形DNA）	匠スタイル	－移住が齎すDNA－（無形DNA）導入資源
地場にあり受け継がれる文化		移住により持ち込まれる文化
◇自然環境（大地・気候など） ◇学習機関（小・中・高・大学） ◇福祉機関（福祉施設・病院） ◇交通機関（新幹線・バス） ◇地域交流（町会・寺社など） ◇伝統産業（農業・工芸品など） ◇伝統文化（まつり・習慣など）		◇労働形態（職域・ITC・産業） ◇経済効果（商い・移住など） ◇居住施設（集住コミュニティ） ◇国際交流（異文化交流） ◇文化発信（フェスタ・観光など） ◇交流教室（ライフスタイルなど） ◇情報公開（まちおこし・SNS）

育成 まちづくり拠点の形成＜南魚沼（浦佐）地域の匠の集合体（居住 × 活動処）＞

移住シニアの集合体（集住拠点）が、CCRC の新たな母体となり、地域運営組織**『匠宿（たくみじゅく）』**構成します。移住民の無形財産（匠）を活用した地域育成計画は、地域住民とともに発酵しコミュニティ、南魚沼ブランディングへと個性を育てます。

住処を育てる たくみじゅく 匠宿
匠を培い、熟年した生き方
宿を育て、集合する暮らし
⇒南魚沼スタイルの暮らし方とは…

『匠宿』は、**『匠プログラム × 集住体（集落：まち）』**による集合するチカラとカタチによって、新たな交流拠点の整備を行います。

【宿場町】旅人の起点／賑わい処
▼CCRCの基盤形成の再生▼
【匠宿】セカンドライフ／新たな旅路

「匠宿」を育てる地域運営・協育

自然環境の恩恵
田園・山・河川・緑
生態系・里・雪 等
＊八色の森公園

医療・福祉機関
＊魚沼基幹病院
＊私立ゆきぐに大和病院
＊北里大学
　保健衛生専門学院
＊老人ホーム八色園
＊デイケアサービス
＊地域老人会・NPO
　福祉事業団体　他

まちなか居住
＊近隣市街地（住区）
＊地元住民居住地

匠宿運営機関

多様なＤＮＡ：匠 STYLE の継承

導入資源							
心	技	体	健	食	緑	遊	題
学	義	味	環	載	愛	唄	茶
剣	書	旅	承	華	舞	地域資源	

南魚沼の地域資源を堪能

地域運営
協働共育
まちづくり

地域宿（集落）は
南魚沼コミュニティを
育てる

CCRC 拠点（地域核） 南魚沼 匠宿

産・官・学の連携
「民間支援の強化」
南魚沼ブランド形成

遠隔サポート交流

集合するチカラ

産 企業団体
＊地域産業
＊第一次産業（農業）
＊第二次産業（加工）
＊第三次産業（観光）
＊第四次産業（ICT）

官 行政機関
＊国土交通省
＊新潟県・南魚沼市
＊姉妹都市（国内）
＊友好都市（国際）
＊その他近隣市街地

学 教育機関
＊国際大学
＊浦佐こども園
＊浦佐小学校
＊大和中学校
＊国際情報高校

匠宿の生活補助“交歓サポート”
南魚沼ブランド　まちなか近居　宅配サービス
ゲストハウス　移住応援・匠コンシェルジュ

匠宿を運営を補助“地域ファンド”
故郷ファンド　滞在ファンド　企業ファンド
生涯ファンド　生活ファンド　国際ファンド

■交歓サポート・・・暮らしを彩る移住サポート（移住先輩の紹介、短期体験、生活（労働支援）など）
■地域ファンド・・・ふるさと納税をはじめ、遠隔地域の家族サポートや、企業による遠隔労働対応、国際化を図る友好都市との交換留学制度、滞在期間に応じた匠ポイントなど

学 研究と探求の匠
南魚沼Labとの共同研究

生涯学習機関として、「地域・行政・市民」の三位一体による研究促進を図り、シニア世代の新たな活動の場をつくり、知識の伝承を行います。

和 日本文化の匠
国際交流を図り語らう

国際大学との交流の中で、異文化コミュニケーションを楽しみ、和の文化（茶道や華道、舞踊、まつりなど）を通じて、日本のこころを伝えます。

体 スポーツの匠
身体を動かす健康づくり

健康増進の体力づくりを行うアクティブコートを展開します。多目的広場・フットサルコート・テニスコート…とスポーツコミュニティによる心の育成を図ります。

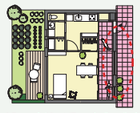
味 食の匠
健康長寿を育てる食卓

食に恵まれた新潟の地域環境を生かし、郷土食や食育を大切にします。食卓を囲み生まれるコミュニケーションが時とともに交流処を育てます。

住 居住モデル（匠の住処）
暮らしのインアーフェイスをデザインする

Single HOME：ひとり暮らしの匠

おひとりさま。近年増加する単身者居住として、土間空間で繋がる。



コモン空間の利用を推奨する。居住空間には、**『街路とつながる土間』**を設ける。

40㎡住戸（充実した単身者モデル）

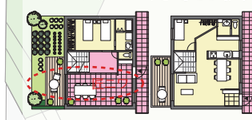
Basic HOME：ふたり暮らしの匠

夫婦で移住。趣味や仕事のためのワークライフをもつ住まい。

70㎡住戸（匠の間・SOHO モデル）

Maisonnette HOME：シェアの匠

夫婦＋αの住まい。ホームステイやシェア、ゲストを迎える暮らし。



80㎡住戸（匠のニワ・スタジオモデル）

COMMON ROOM：匠の集い場

まちに開いたコモン空間。居住者＋地域住民が共に活躍できる場。
40㎡・70㎡を基準に構成
家事ステーション（料理・洗濯・裁縫）
健康スタジオ／ギャラリー /DIY スタジオ／ライブラリー／和室／リサイクルステーション
メディアルーム／出張公共所（役所・医療・保険・法律）／音楽スタジオ／ホール／工房／武道場／サークル室　など

浦佐の核を創る『まちの駅：匠宿』（第一期候補地）

八色の森公園、池田記念美術館、コミュニティホール
小中学校に近接したまちの中核地に第一期事業を展開する
東浦佐駅前線の軸は（駅とIC）をつなぎ、CCRC まちの駅（宿場）を形成することが出来る。

CCRCの町　四季薫る匠宿

時 四季を感じる（匠の旅）
四季が描く、南魚沼の風景描写

構 南魚沼の暮らし（四季と対話する住処）
気候風土を生かし、空気の流れや体感交流の中で育まれます。

仮設コモン：間仕切りにより生まれる
日本の建具（襖や障子）を感じる衣替えによって、生まれる可変空間は時に応じて場を発酵させます。

常設コモン：匠を伝承するスタジオ等
スタジオや工房、集会所など匠を伝承し、居住者や地域住民でも、使用可能な共有空間です。。

居住空間：中間領域をもつ住まい
中間領域（土間・縁側等）は匠の間・匠のニワと公開性を育てながら、気候調整も行います。

匠の園：四季を感じる庭
田園・花壇・水盤・石などの自然素材と居住者のコミュニティーガーデンです。

繋 地域と生きる
風土循環住宅（歴史を受け継ぐ住まい）

●地場産業木材を利用
●環境住宅（通風・採光・緑化）
●エネルギーシェア（太陽光発電・雨水利用）

環 ３Ｒの匠
Re：デザインを循環させる

リデュース、リユース、リサイクリと生活品や環境資源をの循環活動を担うことを始めます。タウンシェアリング（共有化）のまちづくりへと継承させます。

趣 遊びの匠
四季を感じる大地と戯れる

春のサイクリング、夏の渓流ボート、秋の紅葉マラソン、冬のウインタースポーツと、大自然の中で自然とともに遊べる大人の趣味を伝えます。「

恵 農業の匠
田園の喜びアグリライフ

命の恵みを学び、地域住民のサポートを仰ぎ、植付け・管理・収穫等を学習し『農の暮らし』を感じながら、自給自足の暮らしを目指します。

舞 藝術の匠
大地に描くパフォーマー

趣味を育て、暮らしのアートが交流を育てます。永年にわたり創作される作品は、アーティスト・イン・レジデンスにて、南魚沼祭で華開きます。

CONCEPT

南魚沼市は、まち・ひと・仕事の３つの領域を軸に、未来の南魚沼像を描くまちづくりを行っています。『南魚沼ＣＣＲＣのプロデュース』をきっかけに、高齢化社会に対応する健康増進まちづくりを始動します。

本提案は、南魚沼の地域資源（有形ＤＮＡ）と移住者がもたらす導入資源（無形ＤＮＡ）により育成される南魚沼の新たなＤＮＡを創出することが目的です。それには、シニア世代だからこそ、培われてきた知的財産（職能・技術・知識・感覚・個性・嗜好・思想など）をまちに還元することが地域対話であり、新たな文化価値として**『匠の伝承』**を展開させる仕組みを主要プログラムとして位置付けます。

ＤＮＡのコラボレーションは集合する匠（モノ・コト・ヒト）の個性を育み、移行者の新生活の拠点**『匠宿（たくみじゅく）』**を形成します。そして、行政や大学校、地域企業住民の事業サポートを受け、南魚沼とシニア世代が紡ぐ匠ＤＮＡのカタチが、まちづくりの芽として育まれることを願っています。

南魚沼市 CCRC 構想（高齢化社会へ対応）
まち（風土・くらし）　ひと（移住民・交流）　仕事（雇用・産業）

STEP1 まちづくり目標（匠の DNA）
暮らしの匠スタイル（ライフスタイル提案）
地域資源　匠の財産（有形 DNA の発信）
導入資源　匠の継承（無形 DNA を導入）

STEP2 まちづくり育成（匠の集合化）
活躍拠点のまち：匠宿（コミュニティ拠点）
地域財産の育成
南魚沼の地場産業
生活がつくり出す匠
移住者がもたらす匠
コラボレーションの技
集合することで創出

STEP3 まちづくり発酵（多様な匠）
匠の集住体をデザインする（地域づくり）
◆居場所づくり
◆食育を応援します
◆安心安全なくらし
◆まちと活きる建築
受継がれる文化◆
歩きたくなる散歩道◆
みどり豊かな南魚沼◆
住みたくなるまち◆

遊びの匠　世代を超えた冬の集いの場

南魚沼の CCRC のまちに、孫・ひ孫が遊びに来ました。世代を超えて、冬の遊びを伝承します。

住の匠　ライフスタイルの提示の極

建築業界を退職した匠。古民家の再生や CCRC 向けの住まい方をプロデュースし町を蘇生させます。

まちの匠　ＣＣＲＣへ集まる原動源

シニア世代が、今までの経験を活かし、まちの活性化を図る『まちづくり会議』を主体になり育てます

芸の匠　文化に親しみながら継承

人々は常に刺激を求めています。趣味を大切にした地域活動は地域を刺激しを動かし続けます。

農の匠　農業を継承し次世代へ繋ぐ

南魚沼の農業文化をシニア世代が新たに享受し、次世代の子供たちへと受け継ぐバトンの匠形成